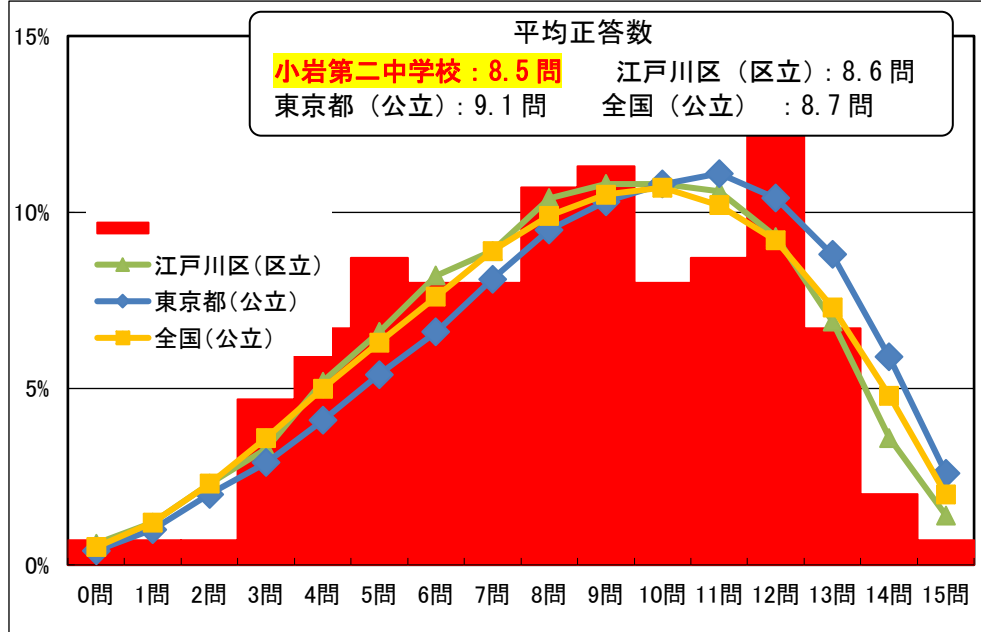
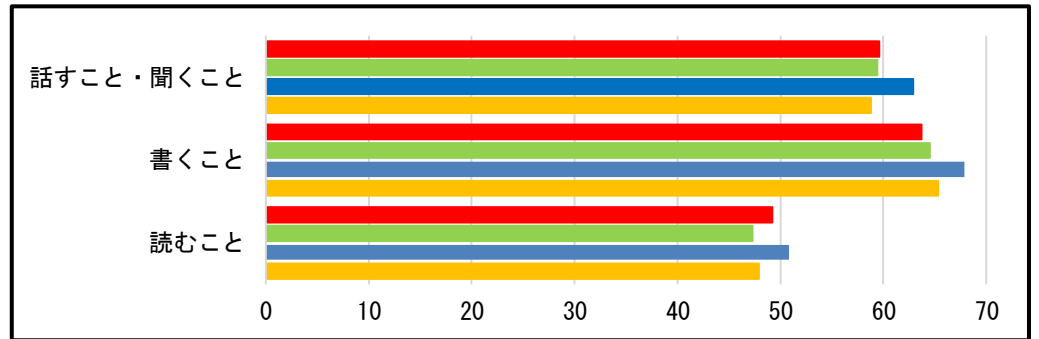
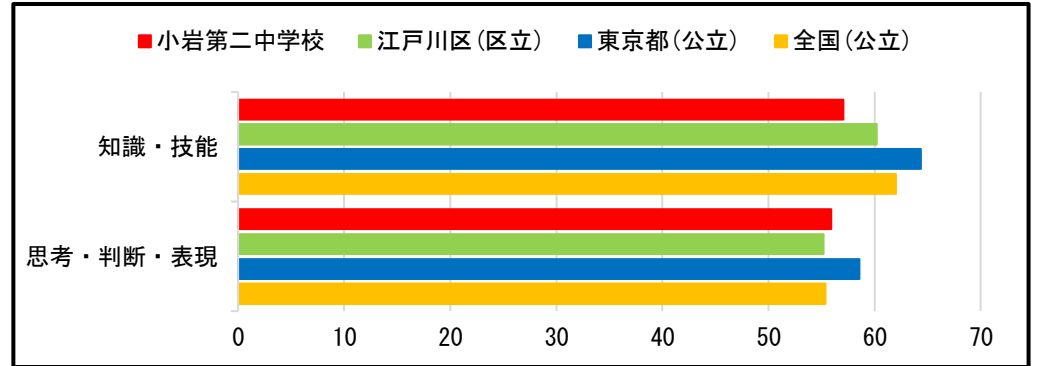


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 小岩第二中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12~15問	B層 9~11問	C層 7~8問	D層 0~6問
小岩第二中学校	23.4	28.0	18.7	30.2
江戸川区(区立)	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都(公立)	27.7	32.2	17.6	22.5
全国(公立)	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】

小岩第二中学校	56%
江戸川区(区立)	57%
東京都(公立)	61%
全国(公立)	58.1%
都との差	5ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

「思考・判断・表現」の観点においては、全国を上回る結果となったが、「知識・技能」の観点が大幅に下回っている。また、「思考・判断・表現」の中でも「書くこと」を苦手とする生徒が多いことが分かる。

D層の割合が一番高いため、小テスト等を通じて「知識・技能」の定着を図るとともに、「書く」ための知識を付けられるように作文指導の充実を図る。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。